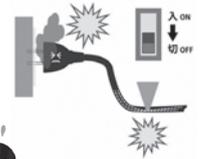


能登半島地震の教訓を生かして災害に強い沼田町にしよう！

令和6年1月1日16時10分頃石川県能登地方を震源として最大震度7を観測した「令和6年能登半島地震」が発生し甚大な被害を及ぼしました。今回の地震による被害の特徴として、以下の点が挙げられます。

- ・直下型の激しい揺れで建物が倒壊、下敷きとなったケースが多い
- ・土砂崩れや道路損壊により交通網が寸断され、支援物資の到着が遅れた
- ・厳冬期の災害で避難所生活等での健康被害が多い



地震への備えとして



- 家具は壁に固定するなど**転倒防止対策**をする
- 建物の倒壊時でも避難しやすいよう玄関や勝手口、大きな窓等の**避難口を2箇所以上確保**する
- 冬期は屋根からの落雪で避難路が塞がれる可能性があるため、**自宅周辺の定期的な除雪**をする
- 揺れがおさまってから**暖房器具やガスコンロの火を消す**
(可能な限り耐震自動消火装置付を使用する)
- 電気火災防止のため、**避難時はブレーカーを落とす** (可能な限り感電ブレーカーを設置する)
- 防災用品として**貴重品、防寒用品、食品、飲料水、日用品などを用意**する



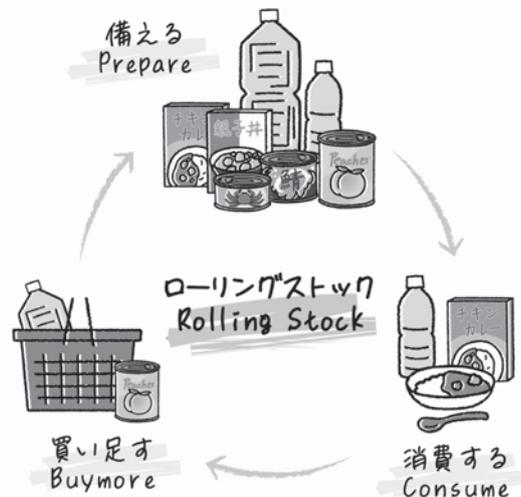
能登半島地震で最も大きな課題のひとつとなったのが、交通網の寸断による食料品や飲料水の到着遅れです。一般的にライフラインの復旧や支援物資の到着までに「**最低3日**」を要するとされており、災害食などの非常持出（備蓄）品の準備が不可欠です。「**ローリングストック法**」を活用して災害に備えよう。

「ローリングストック法とは」

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つ方法です。

ポイント

- ・ 費用、時間の面で普段の買い物の範囲でできる
- ・ 買い置きのスペースを少し増やすだけで済む
- ・ 賞味期限切れを防ぐ



沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

